

町道立野中道線外道路改良工事に伴う 立野遺跡発掘調査 現地公開資料

令和2年10月23日(金)



公益財団法人
和歌山県文化財センター

和歌山市岩橋1263番地の1 電話：073-472-3710



発掘調査について

たちのいせき

すえき たたきいし

やよい

こぶん

立野遺跡は、昭和51年に須恵器・叩石などが発見され、弥生時代から古墳時代の遺物散布地として

知られた遺跡です。これまでに平成21年度の近畿自動車道紀勢線事業に伴う田辺ーすさみ間の建設

工事に伴う発掘調査をはじめ、過去何度か調査が実施されており、弥生時代前期から中世にかけての遺構から多量の木製品、石器等の遺物が出土しています。

今回の調査は、すさみ町の町道立野中道線外道路改良工事に伴い令和2年9月下旬から開始し、北側調査区(1区：55.0㎡)、南側調査区(2区：180.0㎡)について発掘調査を行ないました。今回の調査区では、これまでの調査で確認された弥生時代の自然流路(川)の延長部や中世以降のものと思われるピット、土坑などを確認し、石器や陶器片などが出土しています。



1区全景 (東から)



1区南壁断面土層 (北西から)